

学校関係者評価報告書

愛媛県立八幡浜高等学校 全日制

学校番号 36

評価実施日		平成31年2月22日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	幸田 裕司	(一社)愛媛県ネットワーク協会 メンタル・トレーナー	
	菊池 省三	八幡浜市民生児童委員協議会会長	
	脇坂 耕三	八幡浜市立真穴中学校校長	
	三瀬 康弘	(株)三瀬商店代表取締役社長	
伊藤 篤志	PTA会長		

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方の課題意識は高く、厳しい評価になることもあると思われるが、今後も改善しつつ、継続した取組を行ってほしい。 社会人に会計知識の重要性が求められる現在、商業科併設の高校として既存のカリキュラムを超えた学びが実現できると面白い。 教員の多忙が問題となる中、校外研修への参加は難しいと思われるが、時間を見つけて参加し自己研鑽に努めて欲しい。 相互参観授業への参加は個人差が大きく、一般公開授業については参加がほとんどなかったが、次年度に向けての改善方策はあるのか。 <p>2 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校生の交通マナーはいい方だと思う。実際の事故について、事故当事者に配慮をしつつ、どのような事故が起こったのかを他の生徒たちにも伝え、考えさせる場面が必要であると思う。 自転車の交通マナーは、ドライバーとなって初めて認識できる部分もある。高校生への指導は難しいと思われるが、粘り強く指導を継続してほしい。 登下校時の交通事故0件を推進してほしい。 自転車事故減少への指導は人命に関することであり、折に触れ注意徹底することが必要である。 生徒会活動に対する取組について、毎年新しいことに挑戦させることが、過度な負担にならないかと危惧してしまう。 <p>3 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的・系統的な指導がなされていると思う。生徒と保護者間の進路についての会話が増えるよう、先生方から生徒への働きかけをさらにしていただくとありがたい。 時代の過渡期である現在、未来を見据えた指導を心がけていただきたい。 就職指導について、近年企業はコミュニケーション能力を重視する傾向があり、1年次からの早めの対応が必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の移行期間に入り、多様な生徒の進路実現、また特色ある学校づくりを目指すため、より充実した教育課程を研究、改善していく。 普通科の生徒に経済感覚・会計知識の重要性を身に付けるべく、商業科の活用方法を検討する。 校務系ネットワークのメッセージ機能や職朝連絡票の裏面を有効活用して、研修会参加後の参加報告を効果的かつ効率的に実施することで学びを共有し、教員の研修会参加への意欲を高めていきたい。 一般公開授業は時間的に参加が非常に難しいが、相互参観授業はまだ十分に改善の余地がある。今後は、「授業を見てもらう。授業を見せてもらう。」意識が教員間で高まるよう、校内の構造・活動・関係づくりに取り組むたい。 来年度から新たに4月下旬に自転車通学生一括指導を年間行事として取り入れた。この活動を通して、交通安全及びヘルメットの顎ひもをきちんと締める指導を実施していきたい。 これまでに「体育祭ブロック名」やスマートフォン利用に関する「八高スマホ八項」の考案等の活動実績がある。生徒の負担にならない範囲で、計画的に活動することや合意形成の重要性を学ばせたい。 1年を通して、課員が一致協力し、また、先生方にも様々なことを周知しながら、協力して進路指導に当たることができた。進路情報の提供も適宜行ってきたと思うが、今後はホームページの活用や進路室だよりなど、生徒だけでなく保護者にも積極的に情報を発信していきたい。 大学入試共通テストの実施に向けて、進路指導課主導で情報提供と生徒の学力定着・伸長を目指して努力したい。 商業科においてはこれまで様々な取組を実施し、生徒の能力の伸長に努力してきた。提言を生かして、今後も鋭意努力していきたい。

評価・提言等	提言等に対する改善方案等
<p>4 健康・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回の早く帰ろうDayと言わず、毎週設定してもよいのではないか。 ・保健委員のプレゼンを拝聴した。生徒の自主的な取組が素晴らしい。 ・体力的にも頑健な時期にあたり、健康管理に意識を向けさせることは難しいと思われるが、自己管理能力の養成はたゆまず行う必要があると考える。 <p>5 図書・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出の冊数を目標にするのではなく、読書によって何が得られるのか目的を理解させ、感性や力を付けていくことが大切ではないか。 ・ホームページの毎日のアクセス数が昨年度より増加しているが、部活動情報だけでなく多くの活動場面を取り上げて、更なる内容の充実をお願いしたい。 ・年2回の「PTA会報」や1回の号外を予定通り発行することができる。 <p>6 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に様々な取組がなされており、人権意識が高まったと思われる。 ・今後もホームルーム活動だけでなく、教育活動全般において人権意識を高めるとともに、その思いが伝わるような実践をしてほしい。 <p>7 学年</p> <p>1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の徹底、学習時間の確保、自己理解を深める進路指導の充実等の目標に沿った指導が十分できており今後も継続してよい評価が出来ることを期待したい。 ・教科や担任の連携を大切にしながら教科・生徒指導に取り組んでいただきたい。 <p>2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は概ね定着してきている。学校行事や部活動、課外活動などと勉学との両立を図りながらさらに人間形成に努めていただきたい。 ・成績が伸び悩んでいる生徒や、不登校生徒、部活動の成績、生徒同士の人間関係などに悩む生徒にも目を向け、生徒の自己実現に向けて支援していただきたい。 <p>3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職は目標を達成している。進学についてはホームルーム担任や教科担任の細やかな指導に加えて、学年を越えて全ての教員での指導体制が充実しており、生徒がそれに応える形で、進路実現が確かなものとなっている。 ・リーダー性の育成については、部活動や学校行事を通じて確実に成長がみられ、今後の人生の礎となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度月1回の設定により、退勤時間を意識した良い雰囲気づくりができています。この取組は、強制的なものではなく職員間の意識改革であり、来年度は月2回の設定により、定着を図りたい。 ・保健の授業を利用し、各クラスの保健委員が本校生徒に向けて発表する場を設けたい。 ・検査結果を健康管理に役立てられるように結果報告書の判定欄に報告コメントを入れ、自己管理に役立たせたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が読書を通して世界を広げていけるよう、これからの学びに対応できる図書室の運営を目指して施設・図書の充実に努めていく。 ・来年度、ホームページをリニューアルする予定であり、その構成等を各課のホームページ委員と連携を取りながら、閲覧者が興味関心を持てる内容になるよう工夫をする。迅速で充実した情報発信に努める。 ・PTA広報委員の方々を中心に原稿依頼や編集等を行い、生徒の部活動の様子や行事等を随時取り入れ、来年度も一層充実した会報になるよう努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、出会いと対話を大切に、「部落差別解消推進法」の具現化に向けて取り組む。 ・生徒とともに積極的に活動し、人権だよりなどを活用してその思いを保護者や地域に伝えられるよう努めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習と部活動との両立を基本に、何事にも自ら進んで主体的に行動できる生徒の育成を目指して指導を継続するよう努める。 ・成績の格差が広がっていることを踏まえて、各教科や各担任間での話し合いを持ち、対策を考え実践していく。 ・勉学と部活動等の両立をさらに図り、家庭との連携を密にするとともに、個々の生徒の実情を把握し、一人一人が自覚を持って目標に向かって取り組むことができるように指導していく。 ・今後もたゆまぬ努力を重ね、小さな成果の積み重ねによって大きな成果をつかめるよう指導するとともに、勉学だけではなく課外活動など様々な活動を粘り強く継続することにより、豊かな人間形成を目指していく。 ・様々な場面で期待以上の成果を上げており、今後も現在の教育活動を継続していく。 ・多様な生徒と向き合っていかなければならないため、指導において明確な方向性を示し、教員間及び各家庭との連携を密にし、意識統一を図るの必要性を感じる。 ・文武両道の理念のもと、学習面だけに偏らず、行事や部活動を通して、バランスの取れた人間性の陶冶を目指していく。